



令和4年度

橋梁技術発表会 講演会

参加費
無料定員
200名申込
先着順

及び

新型コロナウイルスの感染拡大により中止となる可能性があります。
定員は感染症対策を考慮したものです。状況により変更となる可能性があります。

第1部

13:00~13:10

開会の辞

(一社)日本橋梁建設協会 副会長 川畑 篤敬

技術発表

13:10~13:50

① 著名橋の補修・補強事例
～歴史的価値を守りながら鋼橋を後世に残す～

保全委員会

13:50~14:00

休憩

14:00~14:40

② 鋼橋の陸上輸送
～橋を安全に輸送するための留意点～

製作小委員会

14:40~14:50

休憩

第2部

特別講演

14:50~15:50

構造実験とコンピューターシミュレーションを
連携したハイブリッド実験による
制震デバイスの開発

名城大学理工学部
社会基盤デザイン工学科 教授 渡辺 孝一



15:50~16:00

閉会の辞

(公社)土木学会中部支部 支部長 河田 誠一

日時

令和4年

11月9日(水)

13:00~16:00

会場

名古屋市中小企業振興会館

(吹上ホール) 7Fメインホール

名古屋市千種区吹上2-6-3

申し込み

Webサイト <https://www.jasbc.or.jp/>

受付は令和4年10月8日~10月30日

※申し込みは、Webサイトからのみです。

連絡先

一般社団法人 日本橋梁建設協会 中部事務所
〒475-0826愛知県半田市神明町1-1 瀧上工業(株)内
TEL 0569-47-6651

継続教育

CPDS申請予定

開催地区

- 東京地区: 10月 7日(金)
 - 中部地区: 11月 9日(水)
 - 大阪地区: 10月14日(金)
 - 東北地区: 11月18日(金)
 - 北海道地区: 10月28日(金)
 - 九州地区: 11月25日(金)
- (6地区開催ですが、発表テーマは異なります)

資料配布

会場では配布いたしません。必要に応じてWeb
サイトより出力し持参願います。

【アクセス】



● 地下鉄桜通線「吹上駅」下車 5番出口より徒歩5分

【来場時のお願い】

◎来場時に検温および体調の確認をさせていただきます。 ◎来場時には、マスクの着用をお願い致します。
◎体調不良の場合は、来場を自粛して頂きます様、お願い致します。

1 著名橋の補修・補強事例

私たちの身の回りには様々な鋼橋が存在します。その中には昔からその場所にあり、生活やその町の風景に溶け込み、なくてはならない存在となっている鋼橋も少なくありません。そこで、町の歴史や文化を象徴するかのように存在する著名橋を対象として、長寿橋梁ならではの特徴を踏まえながら、その価値を損なわずに後世へと残すことができるよう工夫しながら行われた補修・補強の事例を紹介します。なお、対象橋梁は比較的近年に補修・補強が行われたもので、技術的な資料が存在するものとします。

2 鋼橋の陸上輸送

輸送マニュアルは、発刊からこれまでの間、設計者や輸送に係わる技術者の方々に活用されてきましたが、平成20年の改訂版発刊以降、特に陸上輸送に関する法令の改正や規制の緩和がなされ、輸送マニュアルの改訂が必要となり、今回、鋼橋を主とした輸送の手引きとして全面改訂いたしました。鋼橋製作における使用鋼材や製品の陸上輸送では、関係法令による積載許容限度や車両諸元を把握して鋼構造物を設計し、安全に輸送できる製品の積付けや固縛等の専門的知識が必要となります。今回の技術発表会では、引き続き本手引きが多くの設計者や輸送に係わる技術者の方々に活用され、鋼橋の安全な輸送の一助となればとの思いで安全輸送のための留意点についてご説明します。

特別講演会 講演者紹介

名城大学 理工学部社会基盤デザイン工学科 教授

渡辺 孝一

講演テーマ

構造実験とコンピューターシミュレーションを連携したハイブリッド実験による制震デバイスの開発

【略歴】

平成 7年3月 名城大学理工学部一部土木工学科 卒業
平成 9年3月 名古屋大学大学院工学研究科 土木工学専攻博士前期課程修了
平成 9年4月 株式会社横河ブリッジ 入社
平成16年3月 株式会社横河ブリッジ 退社
平成16年4月 名城大学理工学部建設システム工学科助手
平成20年3月 博士(工学)(名城大学)
平成20年4月 名城大学理工学部建設システム工学科助教
平成24年4月 名城大学理工学部建設システム工学科准教授
令和 2年4月 名城大学理工学部社会基盤デザイン工学科教授 現在に至る

【専門分野】 構造工学, 鋼構造学, 工学教育

【講演概要】

橋梁の耐震性能を向上させるため、例えばダンパーによる制震化は有効な施策の一つである。しかし、こうした制震対策を施した橋梁に対して、実際の地震時挙動を検証することは、現実的に極めて困難である。この課題に対して、ハイブリッド実験は有効な検証手法の一つである。本講演では制震ダンパーの制震性能を検証するためのハイブリッド実験手法について紹介する。

令和4年度

橋梁術発表会

中部地区

11月9日(水)

参加申込方法▶



一般社団法人 日本橋梁建設協会
Japan Bridge Association

ホームページよりお申込み下さい。

<https://www.jasbc.or.jp/>

「技術発表会」
の申し込みはこちら。